

94. 生活態度の悪い生徒の取り扱いは

【問い】 高校2年の男子ですが、最近生活態度が悪いので注意すると、すぐ怒ってしまいます。ゆっくり話し合いたいのですが、どういう点に気を付けたらよいでしょうか。

【答え】 高校生のころは、注意されるとすぐに反抗したりします。それはひとり立ちへの成長の一過程なのです。しかし、注意の仕方にも問題はあります。例えば「なぜそんなことするの。……しなさい」といった注意は、ますます怒らせることになります。実際は注意しなくてもなにが正しく、なにが悪いかは知っています。ただこうしなければならないと知りながらも、態度にはうまく表せない年ごろなのです。そのため心の状態がいつも不安定で、いらいらしているのです。

したがって子どもと話をするときには①まず先入観を捨てて話を聞くことです。「なにをいっているの」と注意してしまうと子どもは心を閉ざしてしまいます②次に子どものいい分を認め、同感し、ともに考える姿勢を示すことです。「それは違うわ」と否定や批判をしないで、話を最後まで聞くことです。そして③この子にも必ず自分で立ち直る力があることを信じ、子どもを信頼することです。「親の顔つぶしだわ。A君を見習いなさい。ああいう子どもを持った親はうらやましい」などといってしまうと、子どもは頭にきて「だれも頼みもしないのに産んでおいてなんだ。いなければいいんだろう」と怒ってしまい、家出などを考えるようになるものです。

しかし、子どもは親が自分を信頼してくれていることを知ると「これではいけない」と反省し、立ち直るよう努力するものです。高いところから見下ろさず、接することです。子どもは心を開き、話に応じ、立ち直ってくれるものと信じます。